■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	無期限（設定日：2003年６月27日）
運用方針	・主として、米国バンガード社が設定したインデックス型の４つの米国ドル建て米国籍外国投資信託の受益証券を通じて、世界主要各国の株式（除く、日本）に実質的に投資するファンド・オブ・ファンズです。 ・基本配分比率は、グローバルな株式市場（除く、日本）の時価総額を勘案して、概ね以下の比率で投資を行います。 バンガード・グロース・インデックス・ファンド …… 約32.5% バンガード・バリュー・インデックス・ファンド …… 約32.5% バンガード・ヨーロピアン・ストック・インデックス・ファンド …… 約30.0% バンガード・エマージング・マーケット・ストック・インデックス・ファンド … 約 5.0% なお、時価総額等を勘案して基本配分比率は将来的に見直しを行うことがあります。 また、この信託の設定、解約、投資環境の変動等への対応等のため、内外の短期金融商品等に投資することがあります。 ・組入有価証券の価格変動等によって上記基本配分比率に変動が生じた場合、原則として、上記比率から±５%（ただし、バンガード・エマージング・マーケット・ストック・インデックス・ファンドに関しては±３%）の範囲内となるよう、組入比率を調整することとします。 ・原則として、対円での為替ヘッジは行いません。
主要運用対象	米国ドル建ての外国投資信託の受益証券を主要投資対象とします。なお、内外の短期金融商品に直接投資する場合もあります。
組入制限	・外貨建資産への投資には制限を設けません。 ・株式への直接投資は行いません。
分配方針	年１回（毎年４月５日。休業日の場合は翌営業日）決算を行い、次の方針に基づき分配します。 分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。 分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないこともあります。

※分配金自動再投資専用

三井住友・バンガード海外株式ファンド

【運用報告書】

第 11 期

決算日　2014年４月７日

投資家の皆さまへ

平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
さて、ご投資いただいております「三井住友・バンガード海外株式ファンド」は、2014年４月７日に第11期の決算を行いましたので、期中の運用状況につきご報告申し上げます。
今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

三井住友アセットマネジメント
SMAM
〒105-6228 東京都港区愛宕2-5-1
http://www.smam-jp.com

お問い合わせ先
お客さまサービス部
フリーダイヤル **0120-88-2976**
受付時間：営業日の午前9時～午後5時

ファンドの特色

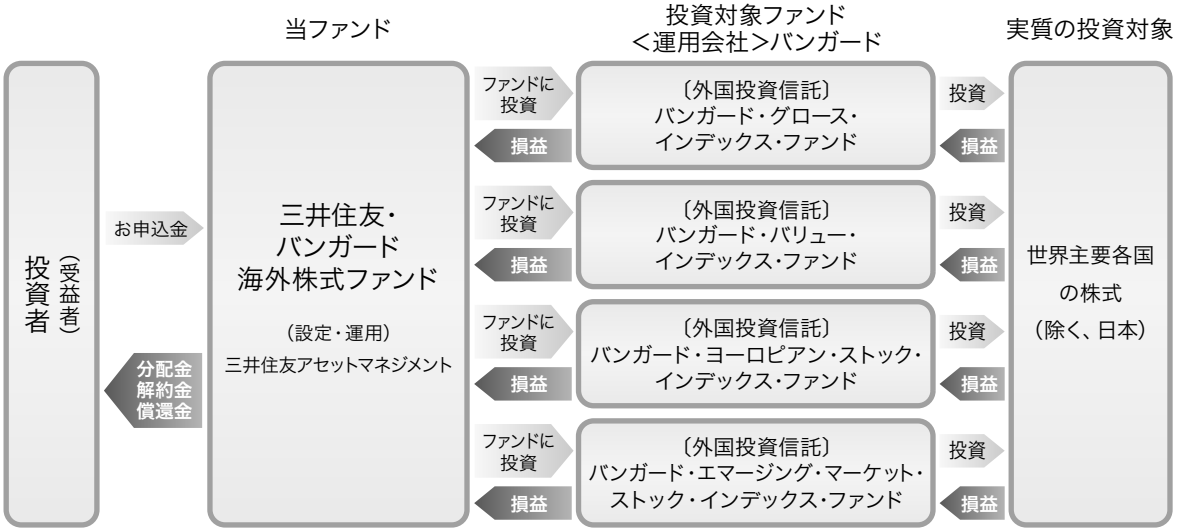
当ファンドは外国投資信託を中心に投資を行い、日本を除くグローバルな株式市場の動きをとらえることを目的に運用を行っています。主としてバンガードが設定したインデックス型の４つの米国ドル建て外国投資信託を通じて、日本を除く世界主要各国の株式に実質的に投資するファンド・オブ・ファンズの形式を採用しています。４つのファンドの基本配分比率は、グローバルな株式市場（除く日本）の時価総額を勘案して、概ね以下の通りです。

バンガード・グロース・インデックス・ファンド ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 約32.5％
バンガード・バリュー・インデックス・ファンド ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 約32.5％
バンガード・ヨーロピアン・ストック・インデックス・ファンド ・・・・・・・・・・・・・・・ 約30.0％
バンガード・エマージング・マーケット・ストック・インデックス・ファンド ・・・・・ 約 5.0％

なお、基本配分比率は将来的に見直しを行うことがあります。

組入外国投資信託の価格変動などによって上記基本配分比率に変動が生じた場合、原則として上記比率から±５％（ただし、バンガード・エマージング・マーケット・ストック・インデックス・ファンドは±３％）の範囲内となるよう、組入比率を調整します。

ファンド・オブ・ファンズ形式

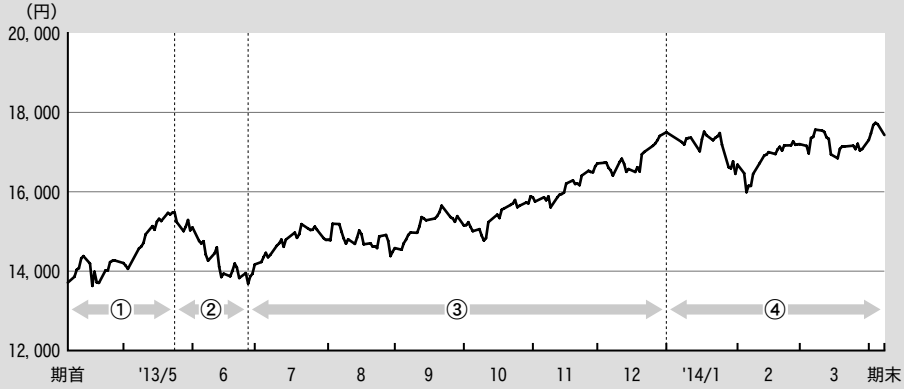


「Vanguard」（日本語での「バンガード」を含む）および「tall ship logo」商標は、The Vanguard Group, Inc.が有し、三井住友アセットマネジメント株式会社および承認された販売会社にのみ使用許諾されたものです。また「三井住友・バンガード海外株式ファンド」は、The Vanguard Group, Inc.およびVanguard Investments Japan Ltdより提供、保証または販売されるものではなく、また投資に関する助言を受けていることを表すものでもありません。したがって、The Vanguard Group, Inc.およびVanguard Investments Japan Ltdは三井住友・バンガード海外株式ファンドの発行または売買に起因するいかなる損害に対しても、責任を有しません。

当期の運用状況と今後の運用方針（2013年４月６日から2014年４月７日まで）

基準価額の推移

基準価額の推移



	期　首	高　値	安　値	期　末
日　　付	2013/４/５	2014/４/３	2013/４/16	2014/４/７
基準価額	13, 713円	17, 737円	13, 627円	17, 431円
騰 落 率	－	29. 3%	－0. 6%	27. 1%

（注）期末基準価額は、分配金（税引前）込みです。

基準価額は期首13,713円で始まり、期末には17,431円（分配金310円（税引前）込み）と3,718円値上がりしました。

基準価額の変動要因

①の局面（期首～2013年５月下旬）……（上昇）

・欧米中央銀行による緩和的な金融環境の下、米国の住宅・雇用など経済指標の改善や予想を上回る企業業績の発表がみられたこと
・日銀の大規模な金融緩和策導入決定を受けて円安が進行したこと

②の局面（５月下旬～６月下旬）……（下落）

・米国の量的金融緩和の早期縮小や中国の金融環境に対する懸念が強まったこと
・新興国株式市場において、投資家のリスク回避的な動きが強まったこと
・投資家のリスク回避姿勢や日銀が追加金融緩和策を打ち出さなかったことなどにより、円高が進行したこと

③の局面（6月下旬～12月末）……（上昇）

・米国の量的金融緩和の早期縮小観測の後退と、9月のＦＯＭＣ（米連邦公開市場委員会）において量的金融緩和の縮小が見送られたこと
・12月のＦＯＭＣにおいて量的金融緩和の縮小開始が決定されたものの、低金利政策の長期化が示唆されたこと
・中国のＧＤＰ（国内総生産）統計など経済指標の改善や、構造改革に対する期待が高まったこと
・欧米の景気回復期待と米国の量的金融緩和の縮小開始決定を背景に円安が進行したこと

④の局面（2014年１月～期末）……（保ち合い）

（上昇要因）
・概ね良好な経済指標や、世界銀行による2014年の世界経済成長見通しの上方修正などが好感されたこと
・米国の量的金融緩和の段階的な縮小と低金利政策維持の方針が表明され、金融政策の不透明感が後退したこと
・投資家のリスク回避姿勢が弱まる局面において、日銀による金融緩和の継続や日本の貿易赤字を背景に、円安が進行したこと

（下落要因）
・タイ、トルコなどでの政情不安やアルゼンチンペソ急落などを背景に、投資家のリスク回避姿勢が強まったこと
・中国経済の減速に対する警戒感やウクライナ情勢の緊迫化が嫌気されたこと
・投資家のリスク回避姿勢が高まる局面において、主要通貨に対し円が選好され、円高が進行したこと

運用経過

＜市場動向＞

（米国株式）
　量的金融緩和の縮小開始時期を巡る金融政策の不透明感や財政協議難航などが嫌気された局面があったものの、低金利環境の継続や米国景気の回復期待から堅調な展開が続きました。

（欧州株式）
　主要各国の中央銀行による金融緩和の継続や予想を上回る企業業績などから景気回復期待が高まり、堅調な展開が続きました。

（エマージング株式）
　米国の量的金融緩和の縮小観測や中国の金融環境・景気減速に対する懸念、タイ・トルコ・ウクライナの政情不安などから、上値の重い展開となりました。

【三井住友・バンガード海外株式ファンド】

（1）投資信託組入比率について
・前期に引き続き、純資産規模や保有現金残高などを考慮したうえで高位に維持しました。
　期末の投資信託組入比率は95.4％となっています。

(2) 投資信託組入比率の構成について

組入ファンド別配分比率

組　入　フ　ァ　ン　ド	基　本 配分比率	前 期 末 (2013/4/5)	当 期 末 (2014/4/7)
バンガード・グロース・インデックス・ファンド	32.5%	32.4%	30.1%
バンガード・バリュー・インデックス・ファンド	32.5%	32.5%	30.8%
バンガード・ヨーロピアン・ストック・インデックス・ファンド	30.0%	29.9%	29.7%
バンガード・エマージング・マーケット・ストック・インデックス・ファンド	5.0%	4.7%	4.7%

※前期末および当期末の配分比率は、純資産総額に対する各ファンドの比率です。

・運用の基本方針に基づきグローバルな株式市場（除く日本）の時価総額を勘案して設定した基本配分比率に沿って資産配分を行いました。
・追加設定や一部解約に伴う入出金がある場合は、保有現金残高などを考慮した上で売買を行い、組入比率の調整を行いました。

【バンガード・グロース・インデックス・ファンド】（当期中の騰落率　＋21.9%）

（2013年４月４日～2014年４月４日、米ドル・分配金再投資ベース、以下同じ）

・主要各国の中央銀行による金融緩和や米国の底堅い景気動向から、当ファンドが組み入れる成長度の高い銘柄が上昇したことでプラス寄与しました。

【バンガード・バリュー・インデックス・ファンド】（当期中の騰落率　＋22.2%）

・主要各国の中央銀行による金融緩和や米国の底堅い景気動向から、当ファンドが組み入れる割安度の高い銘柄が上昇したことでプラス寄与しました。

【バンガード・ヨーロピアン・ストック・インデックス・ファンド】（当期中の騰落率　＋24.9%）

・主要各国の中央銀行による金融緩和や欧州の景気回復期待を背景に、欧州株式市場が上昇したことでプラス寄与しました。

【バンガード・エマージング・マーケット・ストック・インデックス・ファンド】（当期中の騰落率　－1.4%）

・米国の量的金融緩和の縮小観測や中国の金融環境・景気減速に対する懸念、タイ・トルコ・ウクライナの政情不安などから、新興国株式市場の上値は重く、小幅にマイナス寄与しました。

＜為替要因＞

・為替相場（米ドル・円）の円安進行（当期中の騰落率　＋6.5%の円安・米ドル高）

今後の運用方針

＜当面の投資環境＞

米国株式市場は、中期的には緩やかに上昇する展開を見込みます。米量的金融緩和は縮小に向かうものの、世界景気の緩やかな回復を背景に企業業績の改善が進む見通しです。

欧州株式市場も米国に準じた展開を見込みます。ＥＣＢ（欧州中央銀行）の低金利政策の継続や、ドイツに牽引された内需回復と米国中心の外需回復の恩恵を受け、企業業績の回復が期待されます。

新興国株式市場は、複数の国で実施予定の政権交代に絡む選挙や、中国経済の減速感などが相場の変動要因となりますが、先進国中心の景気回復の恩恵により、企業業績の改善が期待されます。

為替市場は、日銀の大規模な金融緩和や日本の貿易赤字継続などを背景に円安基調が予想されます。ただし、欧米ともに低金利政策が継続される中で、円安のペースは緩やかとなる見込みです。

＜運用方針＞

【三井住友・バンガード海外株式ファンド】

・運用の基本方針に基づきグローバルな株式市場（除く日本）の時価総額を勘案して設定した基本配分比率に沿った資産配分を行います。
・追加設定や一部解約に伴う入出金がある場合は保有現金残高などを考慮したうえで、売買の実施を決定します。この売買を通じて組入比率の調整を行います。

【バンガード・グロース・インデックス・ファンド】

米国の普通株式に投資し、米国成長株のインデックスであるＣＲＳＰ　ＵＳ　ラージ・キャップ・グロース・インデックスのパフォーマンスへの連動を目指して運用を行います。

【バンガード・バリュー・インデックス・ファンド】

米国の普通株式に投資し、米国割安株のインデックスであるＣＲＳＰ　ＵＳ　ラージ・キャップ・バリュー・インデックスのパフォーマンスへの連動を目指して運用を行います。

【バンガード・ヨーロピアン・ストック・インデックス・ファンド】

欧州先進国の株式に投資し、ＦＴＳＥ　ディベロップド・ヨーロッパ・インデックスのパフォーマンスへの連動を目指して運用を行います。

【バンガード・エマージング・マーケット・ストック・インデックス・ファンド】

世界のエマージング株式に投資し、ＦＴＳＥ　エマージング・インデックスのパフォーマンスへの連動を目指して運用を行います。

収益分配金

当期の収益分配につきましては、基準価額水準、市況動向等を勘案し1万口当たり310円（税引前）といたしました。なお、詳細につきましては、後掲の「分配金のお知らせ」をご覧ください。

留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用を行います。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

最近５期の運用実績

決算期	基準価額			投資信託証券組入比率	純資産総額
	(分配落)	税込分配金	期中騰落率		
	円	円	%	%	百万円
７期(2010年４月５日)	10,985	150	35.0	99.1	16,681
８期(2011年４月５日)	11,065	90	1.5	99.3	17,578
９期(2012年４月５日)	10,590	100	△ 3.4	99.6	17,320
10期(2013年４月５日)	13,713	200	31.4	99.5	20,679
11期(2014年４月７日)	17,121	310	27.1	95.4	19,480

(注１)基準価額の騰落率は分配金込み。
(注２)当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。

当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		投資信託証券組入比率
		騰落率	
(期首)	円	%	%
2013年４月５日	13,713	―	99.5
４月末	14,203	3.6	97.1
５月末	15,102	10.1	98.8
６月末	14,168	3.3	97.6
７月末	14,790	7.9	98.1
８月末	14,582	6.3	97.4
９月末	15,150	10.5	97.9
10月末	15,859	15.6	98.2
11月末	16,713	21.9	96.8
12月末	17,500	27.6	93.5
2014年１月末	16,683	21.7	95.2
２月末	17,200	25.4	95.3
３月末	17,306	26.2	93.5
(期末)			
2014年４月７日	17,431	27.1	95.4

(注)期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

1万口（元本10,000円）当たりの費用の明細（2013年4月6日から2014年4月7日まで）

項　　目	当　期
(a) 信託報酬	167円
(投信会社)	(57)
(販売会社)	(103)
(受託銀行)	(7)
(b) 保管費用等	1
合　計	168

（注１）期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、下記の簡便法により算出した結果です。なお、消費税率は期末時点の税率を適用しています。
(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×(経過日数／年日数)
（注２）(b)保管費用等は、期中の金額を各月末現在の受益権口数の単純平均で除したものです。
（注３）項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

当期中の売買及び取引の状況（2013年4月6日から2014年4月7日まで）

投資信託証券

			買付		売付	
			口数	買付額	口数	売付額
			口	千米ドル	口	千米ドル
外国	アメリカ	バンガード・ヨーロピアン・ストック・インデックス・ファンド	34,235	1,050	670,928	19,741
		バンガード・エマージング・マーケット・ストック・インデックス・ファンド	39,985	960	70,485	1,851
		バンガード・バリュー・インデックス・ファンド	36,687	1,060	846,454	23,909
		バンガード・グロース・インデックス・ファンド	22,768	1,060	576,866	25,629
	小　計		133,675	4,130	2,164,734	71,130

（注１）金額は受渡し代金。
（注２）単位未満は切捨て。
（注３）銘柄コードの変更等、管理上の都合により同一銘柄であっても別銘柄として記載されている場合があります。

利害関係人との取引状況等（2013年４月６日から2014年４月７日まで）

当期中における利害関係人との取引等はありません。
（注）利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第１項に規定される利害関係人です。

組入れ資産の明細（2014年４月７日現在）

ファンド・オブ・ファンズが組入れた外貨建ファンドの明細

ファンド名	期首（前期末）	当期末			
	口数	口数	評価額		組入比率
			外貨建金額	邦貨換算金額	
（アメリカ）	口	口	千米ドル	千円	%
バンガード・ヨーロピアン・ストック・インデックス・ファンド	2,406,290	1,769,597	56,131	5,792,782	29.7
バンガード・エマージング・マーケット・ストック・インデックス・ファンド	377,715	347,215	8,923	920,898	4.7
バンガード・バリュー・インデックス・ファンド	2,720,355	1,910,588	58,120	5,997,994	30.8
バンガード・グロース・インデックス・ファンド	1,746,853	1,192,755	56,894	5,871,503	30.1
合計	7,251,215	5,220,156	180,069	18,583,180	95.4

（注１）邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。
（注２）組入比率は、純資産総額に対する評価額の比率。
（注３）単位未満は切捨て。

投資信託財産の構成

（2014年４月７日現在）

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
投資信託受益証券	18,583,180	92.9
コール・ローン等、その他	1,430,617	7.1
投資信託財産総額	20,013,797	100.0

（注１）単位未満は切捨て。
（注２）当期末における外貨建純資産（19,024,537千円）の投資信託財産総額（20,013,797千円）に対する比率は95.1%です。
（注３）外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2014年４月７日における邦貨換算レートは、１米ドル＝103.20円です。

資産、負債、元本及び基準価額の状況

（2014年４月７日現在）

項　　目	当　期　末
(A) 資　　産	**20,013,797,991円**
コール・ローン等	1,430,617,289
投資信託受益証券(評価額)	18,583,180,160
未収利息	542
(B) 負　　債	**532,942,091**
未払収益分配金	352,734,491
未払解約金	73,504,956
未払信託報酬	106,171,848
その他未払費用	530,796
(C) 純資産総額（A－B）	**19,480,855,900**
元　　本	11,378,531,992
次期繰越損益金	8,102,323,908
(D) 受益権総口数	**11,378,531,992口**
１万口当たり基準価額(C/D)	**17,121円**

（注１）当期における期首元本額15,080,712,604円、期中追加設定元本額2,284,847,444円、期中一部解約元本額5,987,028,056円です。
（注２）当期末における未払信託報酬（消費税等相当額を含む）の内訳は、委託者報酬101,924,969円、受託者報酬4,246,879円です。
（注３）当期末における受益権の総数は11,378,531,992口です。
（注４）当期末における１万口当たりの純資産の額は17,121円です。

損益の状況

（自2013年４月６日　至2014年４月７日）

項　　目	当　　期
(A) 配当等収益	**373,873,423円**
受取配当金	374,230,396
受取利息	△　356,973
(B) 有価証券売買損益	**3,693,105,695**
売買益	4,438,208,437
売買損	△　745,102,742
(C) 信託報酬等	**△　217,196,062**
(D) 当期損益金（A＋B＋C）	**3,849,783,056**
(E) 前期繰越損益金	**1,689,705,359**
(F) 追加信託差損益金	**2,915,569,984**
（配当等相当額）	（　5,475,085,813）
（売買損益相当額）	（△2,559,515,829）
(G) 計（D＋E＋F）	**8,455,058,399**
(H) 収益分配金	**△　352,734,491**
次期繰越損益金（G＋H）	**8,102,323,908**
追加信託差損益金	2,915,569,984
（配当等相当額）	（　5,475,085,813）
（売買損益相当額）	（△2,559,515,829）
分配準備積立金	5,186,753,924

（注１）**(B)有価証券売買損益**は期末の評価換えによるものを含みます。
（注２）**(C)信託報酬等**には、信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
（注３）**(F)追加信託差損益金**とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
（注４）当期における信託報酬（消費税等相当額を含む）の内訳は、委託者報酬207,301,669円、受託者報酬8,637,576円です。
（注５）当期末における、費用控除後の配当等収益（353,913,105円）、費用控除後、繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益（3,495,869,951円）、信託約款に規定される収益調整金（5,475,085,813円）および分配準備積立金（1,689,705,359円）より分配可能額は11,014,574,228円（１万口当たり9,680円）となり、うち352,734,491円（１万口当たり310円（税引前））を分配金額としております。

分配金のお知らせ

当期の分配金は以下の通りです。

	当　期
1万口当たり分配金（税引前）	310円

分配金の原資となる「分配可能額」は以下の計算過程により算出されました。

	当　期
(a) 費用控除後の配当等収益	311円
(b) 費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益	3,072
(c) 収益調整金	4,811
(d) 分配準備積立金	1,484
(e) 分配可能額(a＋b＋c＋d)	9,680

（注）前頁「分配金の計算過程」の金額を1万口単位で表示しています。なお、単位未満を切り捨てているため、分配可能額と各項目の合計は一致しない場合があります。

収益調整金
新規の受益者がファンドを購入したことによって、既存の受益者が受け取れる分配金の額が薄まることのないよう調整するための勘定です。

分配準備積立金
配当収益や売買益等のうち、分配せずファンド内に留保した部分を積み立てたものです。

上記「分配可能額」から実際に払い出した金額は以下の通りです。
（1万口当たり・税引前）

	当　期
(f)当期分配金	310円
当期の収益	310
当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額((e)－(f))	9,370

（注）単位未満を切り捨てているため、当期分配金と内訳の合計は一致しない場合があります。

当期の収益
「(a)費用控除後の配当等収益」と「(b)費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益」の合計金額から**実際に払い出した分配金**を表しています。

当期の収益以外
「(c)収益調整金」と「(d)分配準備積立金」の合計金額から**実際に払い出した分配金**を表しています。

翌期繰越分配対象額
「(e)分配可能額」から「(f)当期分配金」を差し引いた金額で、翌期の分配原資として繰り越されます。

分配可能額および翌期繰越分配対象額が、基準価額より大きくなる場合がありますが、これはあくまでも投資信託特有の会計処理により起こる事象です。基準価額を超えて分配金が支払われることはありません。また、支払った分配金相当額分だけ基準価額は下落します。

【分配金の課税上の取扱いについて】

分配金は、分配後の基準価額と個別元本との差により、「普通分配金」と「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。

分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は全額「普通分配金」となり、20.315%（所得税15.315%、住民税５%）の税率が適用されます。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分の額が「元本払戻金（特別分配金）」となり非課税、残りの額が普通分配金となります。

「元本払戻金（特別分配金）」が発生した場合、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該「元本払戻金（特別分配金）」を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

＊法人の受益者の場合、上記とは異なります。
＊少額投資非課税制度「ＮＩＳＡ（ニーサ）」をご利用の方は、非課税となります。
＊税法が改正された場合等には、税率等が変更される場合があります。
＊税金の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

お知らせ

＜約款変更について＞

該当事項はございません。

＜消費税率の引上げについて＞

2014年４月１日より、消費税率が５%から８%に引き上げられています。これに伴い、当ファンドの運用管理費用（信託報酬）等の税込みの費用も変更となっています。

変更後の運用管理費用（信託報酬）等にかかる記載がされた目論見書の再交付をご希望される受益者の方につきましては、お申出いただければ再度、送付させていただきますので、その旨を販売会社までお申出ください。

上記のほか、投資信託財産の計算に関する規則第58条第１項各号に該当する事項はありません。

ご参考

＊投資信託における一般的な用語についての説明を以下に記載しております。

資産、負債、元本及び基準価額の状況

項　目	説　明
（A）資産	**ファンドの有する財産の合計額**
コール・ローン等	金融機関向けに短期間で貸し付けた資金や短期金融商品等の残高
各有価証券等（評価額）	ファンドが組み入れている各有価証券等の評価額
未収入金	入金される予定の有価証券の売却代金等
未収配当金	入金される予定の株式等の配当金
未収利息	入金される予定の債券等の利息
（B）負債	**ファンドの支払い予定金額の合計額**
未払金	支払い予定の有価証券の買付代金等
未払収益分配金	支払い予定の収益分配金
未払信託報酬	支払い予定の信託報酬の金額
（C）純資産総額（A－B）	**ファンド全体の純資産額**
元本	ファンドの元本部分の残高（1（万）円×受益権総口数）
次期繰越損益金	ファンド全体の純資産額と元本残高との差額
（D）受益権総口数	**受益者の保有総口数**
1（万）口当たり基準価額（C÷D）	**ファンドの単位当たりの時価**

損益の状況

項　目	説　明
（A）配当等収益	**ファンドが受け取った配当金や利息等の合計**
受取配当金	期中に受け取った株式等の配当金の合計
受取利息	期中に受け取ったコール・ローン等や債券の利息の合計
（B）有価証券売買損益	**各有価証券の売買損益と評価損益の合計**
売買益	期中に実現した各有価証券の売買益と期末評価益の合計
売買損	期中に実現した各有価証券の売買損と期末評価損の合計
（C）信託報酬等	**（△）ファンドから差し引かれた信託報酬や保管費用等の経費（消費税等相当額を含む）**
（D）当期損益金（A＋B＋C）	**当期におけるインカム・キャピタル・信託報酬の合計**
（E）前期繰越損益金	**前期分の繰越損益金と分配準備積立金の合計額から 当期中の解約で発生する取崩し分を控除した金額**
（F）追加信託差損益金	**受益者がファンドに払い込んだ金額と元本額との差額**
（配当等相当額）	配当等に相当する額
（売買損益相当額）	売買損益に相当する額
（G）計（D＋E＋F）	**期中の収支の総合計額**
（H）収益分配金	**（△）収益分配金の金額**
次期繰越損益金（G＋H）	**翌期に繰り越す損益金の合計額 （期中の収支の総合計額から収益分配金の金額を引いたもの）**
追加信託差損益金	翌期に繰り越す追加信託差損益金
（配当等相当額）	配当等に相当する額
（売買損益相当額）	売買損益に相当する額
分配準備積立金	分配金を支払うための準備積立金
繰越損益金	繰越損益の合計額

組入れ投資信託証券の内容

当ファンドは「バンガード・グロース・インデックス・ファンド」、「バンガード・バリュー・インデックス・ファンド」、「バンガード・ヨーロピアン・ストック・インデックス・ファンド」および「バンガード・エマージング・マーケット・ストック・インデックス・ファンド」を主要投資対象としています。

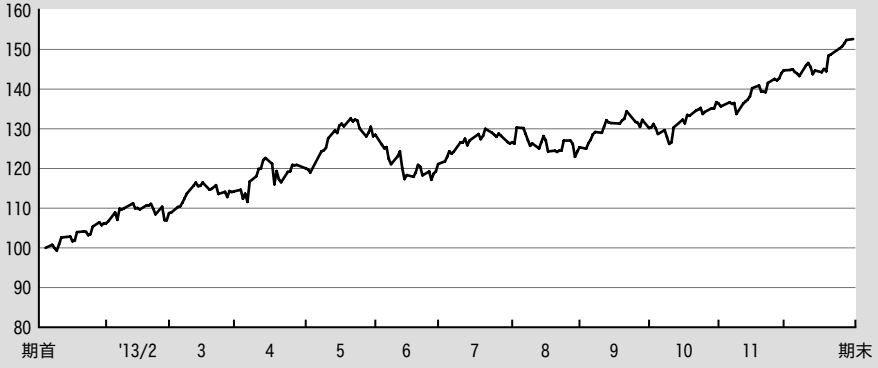
以下には、現地において作成された直近の年次報告書を、抜粋・要約して翻訳したものを記載しています。ファンドにより計算期間が異なりますのでご留意ください。

バンガード・グロース・インデックス・ファンド

運用方針	当ファンドは、米国の普通株式に投資するインデックス・ファンドです。米国成長株のインデックスであるＣＲＳＰ ＵＳ ラージ・キャップ・グロース・インデックスのパフォーマンスへの一致を目指して運用を行います。

当期の運用状況（計算期間：2013年1月1日～2013年12月31日）

基準価額の推移



（注）期首を100として指数化した当社計算値です。

組入上位銘柄

銘　　柄	業　　種	組入比率
Apple Inc.	コンピューターハードウェア	6.3%
Google Inc.	インターネット	3.9%
International Business Machines Corp.	コンピューターサービス	2.5%
Coca-Cola Co.	ノンアルコール飲料	2.0%
Amazon.com Inc.	大規模小売店	1.8%
Comcast Corp.	放送・エンターテインメント	1.7%
Philip MorrisInternational Inc.	タバコ	1.7%
Oracle Corp.	ソフトウェア	1.6%
QUALCOMM Inc.	半導体	1.6%
Walt Disney Co.	放送・エンターテインメント	1.5%
全銘柄数		356

（注）業種は業種分類ベンチマーク（ＩＣＢ）基準による分類です。

組入上位業種

業　　種	組入比率
テクノロジー	25.6%
消費者サービス	20.3%
資本財	12.1%
金融	11.9%
消費財	10.6%

（注）業種は業種分類ベンチマーク（ＩＣＢ）基準による分類です。

費用明細（2013年1月1日~2013年12月31日）

項　　目	比　率
エクスペンスレシオ	0.24%

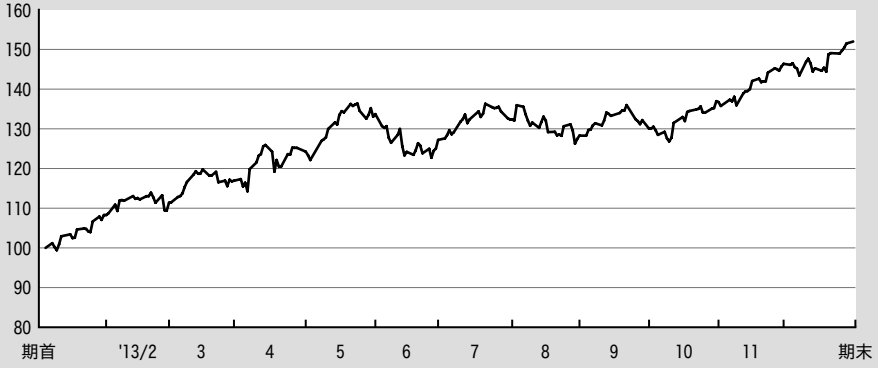
（注１）エクスペンス・レシオとはファンドの運用管理費用およびその他費用をファンドの平均純資産総額で割ったものです。
（注２）上記費用はファンドの純資産から差し引かれています。
（注３）エクスペンス・レシオはバンガード社で算出されるバンガードファンドの直近の年次報告書に掲載されているデータです。

バンガード・バリュー・インデックス・ファンド

運用方針	当ファンドは、米国の普通株式に投資するインデックス・ファンドです。米国割安株のインデックスであるＣＲＳＰ ＵＳ ラージ・キャップ・バリュー・インデックスのパフォーマンスへの一致を目指して運用を行います。

当期の運用状況（計算期間：2013年1月1日～2013年12月31日）

基準価額の推移



（注）期首を100として指数化した当社計算値です。

組入上位銘柄

銘　　柄	業　　種	組入比率
Exxon Mobil Corp.	総合石油・ガス	4.7%
General Electric Co.	コングロマリット	3.0%
Microsoft Corp.	ソフトウェア	3.0%
Johnson & Johnson	医薬	2.7%
Chevron Corp.	総合石油・ガス	2.5%
Wells Fargo & Co.	銀行	2.5%
Procter & Gamble Co.	家庭日用雑貨	2.3%
JPMorgan Chase & Co.	銀行	2.3%
Berkshire Hathaway Inc.	再保険	2.2%
Pfizer Inc.	医薬	2.1%
全銘柄数		313

（注）業種は業種分類ベンチマーク（ＩＣＢ）基準による分類です。

組入上位業種

業　　種	組入比率
金融	22.6%
ヘルスケア	13.7%
資本財	12.9%
石油・ガス	12.3%
消費財	10.4%

（注）業種は業種分類ベンチマーク（ＩＣＢ）基準による分類です。

費用明細（2013年1月1日~2013年12月31日）

項　　目	比　率
エクスペンスレシオ	0.24%

（注１）エクスペンス・レシオとはファンドの運用管理費用およびその他費用をファンドの平均純資産総額で割ったものです。
（注２）上記費用はファンドの純資産から差し引かれています。
（注３）エクスペンス・レシオはバンガード社で算出されるバンガードファンドの直近の年次報告書に掲載されているデータです。

バンガード・ヨーロピアン・ストック・インデックス・ファンド

運用方針	当ファンドは欧州先進国の株式市場に投資するインデックス・ファンドです。 ＦＴＳＥ ディベロップド・ヨーロッパ・インデックスのパフォーマンスへの一致を目指して運用を行います。

当期の運用状況（計算期間：2012年11月1日～2013年10月31日）

基準価額の推移

（注）期首を100として指数化した当社計算値です。

組入上位銘柄

銘　　柄	業　　種	組入比率
Nestle SA	加工食品	2.7%
Royal Dutch Shell plc	総合石油・ガス	2.5%
HSBC Holdings plc	銀行	2.4%
Roche Holding AG	医薬	2.3%
Novartis AG	医薬	2.1%
Vodafone Group plc	移動体通信	2.1%
BP plc	総合石油・ガス	1.7%
GlaxoSmithKline plc	医薬	1.5%
Total SA	総合石油・ガス	1.4%
Sanofi	医薬	1.4%
全銘柄数		506

（注）業種は業種分類ベンチマーク（ＩＣＢ）基準による分類です。

組入上位業種

業　　種	組入比率
金融	22.0%
消費財	17.3%
資本財	12.5%
ヘルスケア	11.0%
石油・ガス	9.2%

（注）業種は業種分類ベンチマーク（ＩＣＢ）基準による分類です。

費用明細 (2012年11月1日~2013年10月31日)

項　　目	比　率
エクスペンスレシオ	0.26%

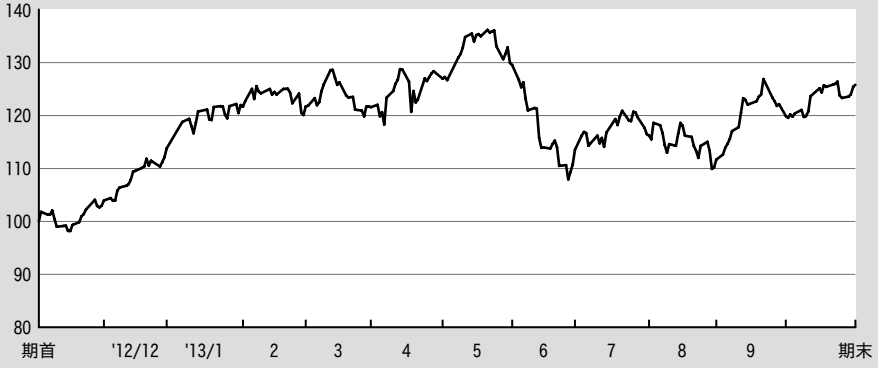
（注１）エクスペンス・レシオとはファンドの運用管理費用およびその他費用をファンドの平均純資産総額で割ったものです。
（注２）上記費用はファンドの純資産から差し引かれています。
（注３）エクスペンス・レシオはバンガード社で算出されるバンガードファンドの直近の年次報告書に掲載されているデータです。

バンガード・エマージング・マーケット・ストック・インデックス・ファンド

運用方針	当ファンドは世界のエマージング株式市場に投資するインデックス・ファンドです。ＦＴＳＥ エマージング・インデックスのパフォーマンスへの一致を目指して運用を行います。

当期の運用状況（計算期間：2012年11月1日～2013年10月31日）

基準価額の推移



（注）期首を100として指数化した当社計算値です。

組入上位銘柄

銘　　柄	業　　種	組入比率
Taiwan Semiconductor Manufacturing Co. Ltd.	半導体	2.6%
Petroleo Brasileiro SA	総合石油・ガス	2.1%
China Construction Bank Corp.	銀行	1.7%
China Mobile Ltd.	移動体通信	1.6%
Gazprom OAO	総合石油・ガス	1.6%
Vale SA	一般鉱業	1.5%
Industrial & Commercial Bank of China Ltd.	銀行	1.5%
Tencent Holdings Ltd.	インターネット	1.5%
Itau Unibanco Holding SA	銀行	1.3%
Banco Bradesco SA	銀行	1.3%
全銘柄数		922

（注）業種は業種分類ベンチマーク（ＩＣＢ）基準による分類です。

組入上位業種

業　　種	組入比率
金融	29.8%
石油・ガス	13.0%
消費財	9.6%
素材	9.0%
資本財	9.0%

（注）業種は業種分類ベンチマーク（ＩＣＢ）基準による分類です。

費用明細（2012年11月1日~2013年10月31日）

項　　目	比　率
エクスペンスレシオ	0.33%

（注１）エクスペンス・レシオとはファンドの運用管理費用およびその他費用をファンドの平均純資産総額で割ったものです。
（注２）上記費用はファンドの純資産から差し引かれています。
（注３）エクスペンス・レシオはバンガード社で算出されるバンガードファンドの直近の年次報告書に掲載されているデータです。

＜ベンチマークの変更に関するお知らせ＞

当ファンドが投資しているファンドのベンチマークにつきまして、以下のとおり変更されておりますので、お知らせいたします。

バンガード・エマージング・マーケット・ストック・インデックス・ファンド（現地2013年６月28日より変更済み※）

変更前　：　ＭＳＣＩ　エマージング・マーケット・インデックス

変更後　：　ＦＴＳＥ　エマージング・インデックス

※ベンチマークを変更する前段階として、現地2013年１月10日から一時的にＦＴＳＥエマージング・トランジション・インデックスをベンチマークとしておりました。